



一日も早い高速化の実現を！

【プログラム使用写真提供】鉄道カメラマン 佐藤和博氏（秋田市）

令和3年度

羽越本線高速化 シンポジウム

羽越新幹線の実現を見据えて考える
沿線地域のポテンシャル



令和3年

日時

10月28日(木)

14:00~15:45 受付開始 13:00~

会場

ホテル アイリス

由利本荘市肴町5番地 TEL0184-24-5115



●お問い合わせ先

羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会・事務局 (由利本荘市企画財政部総合政策課) TEL.0184-24-6226 FAX.0184-23-1322
羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会・事務局 (新潟市都市政策部都市交通政策課) TEL.025-226-2723 FAX.025-229-5150
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会・事務局 (庄内開発協議会) TEL.0235-66-5689 FAX.0235-66-3199

●主催：羽越新幹線整備促進秋田地区期成同盟会 (会長：由利本荘市長)
羽越本線高速化・新幹線整備促進新潟地区同盟会 (会長：新潟市長)
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会 (会長：鶴岡市長)
●後援：秋田県・新潟県・山形県
東北日本海沿岸市町村議会協議会、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社・新潟支社

令和3年度

羽越本線高速化シンポジウム プログラム

羽越本線の高速化並びに新幹線整備を実現するため、羽越本線沿線が本来持っている魅力を再発見することで、鉄道利用を促進するとともに、地域世論の喚起と秋田・新潟・庄内の3地区の連携強化を図る。

開催テーマ：羽越新幹線の実現を見据えて考える沿線地域のポテンシャル

平成29年度に沿線6県（青森県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、富山県）により立ち上げられたプロジェクトチームの調査結果が、令和3年6月に公表され、整備方法の工夫などにより費用対効果（B/C）が1を超える結果が得られるなど、整備の妥当性が確認されました。

コロナ禍という目下の課題をふまえながらも、将来的な羽越新幹線整備の実現を見据え、各地区が持っている地域資源や魅力を再発見し、その活用について考え、情報を共有することで、沿線地域の一層の連携強化・機運醸成を図ろうとするものです。

▶ **開 会** 14:00～

主催者あいさつ（秋田地区）、来賓祝辞、来賓紹介

▶ **講 演** 14:15～15:15

演題：「羽越・奥羽新幹線の実現で変わる地域の未来」

講師：秋田県観光文化スポーツ部 交通政策課長 小松 勝統 氏

▶ **意見発表** 15:15～15:40

秋田地区、新潟地区、庄内地区の各地区代表3名の意見発表

▶ **閉 会** 15:40～15:45

次年度開催地（新潟地区）

memo



出演者プロフィール

講
師



秋田県観光文化スポーツ部交通政策課 課長
小松 勝統（こまつ かつのり）氏

宮城県気仙沼市出身
2008年（平成20年）4月 国土交通省入省
2014年（平成26年）7月 中国運輸局交通企画課長
2016年（平成28年）4月 水管理・国土保全局水政課企画専門官
2018年（平成30年）4月 総合政策局国際政策課海外プロジェクト推進官
2020年（令和2年）7月 現職

意
見
発
表



秋田地区 株式会社齋彌酒造店 常務取締役
齋藤 真紀（さいとう まき）氏

山梨県甲府市出身
山梨大学工学部発酵生産学科卒業
1992年（平成4年）4月 山梨県内の民間企業勤務
1995年（平成7年）5月～ 株式会社齋彌酒造店



新潟地区 にいがた庭園街道ネットワーク 事務局長
平原 悟（ひらはら さとる）氏

新潟県上越市出身
1967年（昭和42年）に国鉄入社以降、38年間にわたり国鉄とJR東日本の鉄道事業に従事し、村上駅長として4年間勤務。
在職中の国鉄改革とJR誕生の業務経験から、村上駅長時代に村上の町おこしに関わる。30年ぶりのSL復活運行、村上の伝統文化「おしゃぎり」を東京駅で展示・紹介、瀬波温泉と村上地域の連携・協力関係の構築に携わる。



庄内地区 一般社団法人 DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー 事業課チーフ
MILLOT SARA（ミヨ・サラ）氏

フランス リール出身
トゥールーズ大から早稲田大へ1年留学。トゥールーズ大大学院を経て、外国青年招致事業「JETプログラム」で再来日。2017年（平成29年）7月末から3年間、鶴岡市で国際交流員として勤務。出羽三山、鶴岡市にある4つの温泉地、即身仏と鶴岡の精神文化を中心に鶴岡市の観光資源を欧米豪向けに発信。
2020年（令和2年）8月から現職に就任し、インバウンド戦略を担う。